

中学生議会本番

8月6日の中学生議会本番は、斉藤議長の進行により（途中、一度、勝浦副議長に交代）グループごとに行い、最初にグループリーダーが学習内容を説明した後、議員一人ひとりが質問や意見を発言し、その後、宮澤市長や発言内容に関係する各部長が答える形式で進めました。

当日は、保護者や市民の皆さん、報道機関など約50人が傍聴しました。



中学生議会参加生徒（敬称略）

グループ	発言順	氏名（学校）
福祉	1	○荻野菜々美（三郷中）
	2	南嶋 愛奈（穂高東中）
	3	矢口 綾乃（穂高東中）
	4	望月 健生（穂高西中）
	5	鳥羽 雅之（穂高西中）
安全安心	6	○山崎 拓也（豊科南中）
	7	大堀 楓真（明科中）
	8	池上 愛依（豊科南中）
	9	原口 美優（豊科南中）
	10	瀧澤 勇輝（明科中）
	11	○遠藤 李（明科中）
産業	12	中村 綾音（堀金中）
	13	三好菜津美（明科中）
	14	輪湖 圭祐（堀金中）
	15	竹内 深人（堀金中）
	16	斉藤 昌昭（豊科南中）
	17	○渡邊 風雅（豊科北中）
教育	18	福原 美知（穂高西中）
	19	宮坂 紅（三郷中）
	20	矢口奈緒美（堀金中）
	21	山川 未来（豊科北中）
	22	勝浦 理彩（穂高西中）
	23	○小林 響（豊科北中）
まちづくり	24	山本 佳奈（豊科北中）
	25	林 晃希（三郷中）
	26	谷口 穂高（穂高東中）
	27	藤田 達也（三郷中）
	28	土屋 諒祐（穂高東中）

○：学習グループリーダー

3回の学習会から学んだことをそれぞれが自分にできることや市がどんなまちづくりを考えているかをまとめ質問しました。

福祉グループ

「健康長寿のまちづくり」について学び、福祉や介護保険など次の項目について質問や提言をしました。

- ①生活保護 ②障害者福祉 ③健康長寿 ④児童福祉 ⑤高齢者福祉

私たちの意見・提案

私たちにできることは、近くに生活に困っている人がいればその相談相手になることや障害を持つ人ができることを助け、みんながそれぞれの個性を發揮できるようにしたいと思います。また、健康診断の未受診率が高いことや介護の現場での人材不足などの情報を共有し、健康や福祉への意識を变えることで健康長寿のまちにつなが



ると思います。

市には、障害者について広く学ぶ機会を増やすことや生活保護の不正受給をなくし、少子化対策として子育て給付金を出すなど福祉予算を充実させて欲しいと思います。



市の考え方・回答

市民の皆さんが安心して暮らすための支援体制を充実するとともに「健康が最高の福祉」と考え、人生を健康で生きがいを持って暮らせるよう、活力があるまちづくりを進めます。

生活保護者の自立支援やこれから子育てをする若い人からの意見を聞きながら子育て支援体制も充実していきます。また、広報や職員の出前講座などで健康の大切さや福祉制度などを多くの市民の皆さんへ伝えていきます。

安全・安心グループ

身近な道路や景観について学び、次の項目について質問や提言をしました。

- ①交通規制 ②景観・生活環境 ③上下水道 ④防災

私たちの意見・提案

地震などの災害に備え、日ごろから家族と話し合い、避難所を確認し、防災用品を準備しておくことや安曇野の景観ときれいな水を守るため、道端のごみ拾いや節水に心掛けることなどが自分たちでもできることだと思います。市には、災害の危険性や景観と水の大切さをもっと市民に知らせて欲しいと思います。また、安心して通学できるよう、警察と協力して通学路などの交通規制もお願いします。



市の考え方・回答

「安全・安心・快適なまちづくり」を目指し、基盤づくりに努めています。特に交通安全対策については小中学校周辺では自動車の速度を30キロに制限する「ゾーン30」という交通規制に取り組んでいます。また、学校などでの環境教育の推進や水道水源となっている地下水を保全するためのルールをつくり、水環境の保護に努めています。



防災については、本年から防災用品の購入補助を行っています。被害を最小限に抑えるため、市民の皆さんが自分の安全は自分で守る「自助」と地域で守る「共助」の考え方を基本に啓発を行っています。

産業グループ

市の産業などを学び、次の項目について質問や提言をしました。

- ①観光振興 ②商業振興 ③森林保全

私たちの意見・提案

観光で、より多くの人に安曇野を訪れてもらうため、安曇野の良さを口コミで広めることや、ポスターを作るなど市民全体で宣伝活動してはどうでしょうか。市もテレビなどでもっと宣伝してほしいです。また、商店街の後継者不足対策などには、10年後を見据え継続的に市が支援することも必要だと思います。

森林や里山の保全については、市内で被害が拡大しているマツクイムシによる被害をより市民の皆さんに伝え、有効な薬剤などに予算を優先的に使うことや県の森林税の使い道を知ってもらうため、市民による植樹や小中学校で木に親しんでもらう機会を設けてほしいと思います。

市の考え方・回答

観光振興については、各種メディアを活用し、安曇野のイメージを大切にしながら、全国に「私の故郷は信州安曇野です」と誇りを持って言えるよう、魅力あるまちづくりに取り組めます。また、個性を生かした商店街や店舗作りを支援し、にぎわいのあるまちづくりを目指します。これからの高齢社会を見据え、「買い物弱者」対策も課題と考えています。

森林・里山保全については、国や県へマツクイムシに有効な薬剤開発への働きかけや森林税を活用した森林整備を計画的に行い、提案にあるような木に親しむ事業も検討します。

